

令和4年度（2022年度）事業報告書

1. 事業の成果

①「文化スポーツなどを通して子どもの心を育む事業」においては、以下のような成果が得られました。

- ・日本の少年サッカーチーム「FCレアーレ」では、サッカーを通して心身を育むと同時に、当団体主催のサッカー大会の際は地元の商店街へポスターの配布、また、ラジオ出演、グラウンドの清掃活動などの社会活動も積極的に行い、子どもたちが自ら考え行動する力を身につける機会を提供しました。
- ・幼児から小学生低学年を対象とした運動スクールとして「走り方教室」を9月から月2回のペースで開催。楽しく体を動かしながら、より良い「走り方」を学びつつ、ゴールデンエイジの子どもたちの総合的な運動能力を伸ばすことに貢献しました。
- ・小学生を対象に、コミュニケーションツールとしての英語を学ぶオンラインクラスを7月から週1回のペースで開催。その際に外国人と英語でコミュニケーションする機会も取り入れ、文法の正しさよりも言いたいことが伝わることを重視。子どもたちの英語への苦手意識が軽減しました。
- ・ネパールで運営しているサッカーチームでは、子どもたちの体力向上を果たすとともに、グラウンド清掃や挨拶など、生活習慣の向上がみられました。
- ・ネパールではキッズサッカーの指導ができるコーチが不足していることから、子どものサッカー指導に特化したコーチ育成講座を開催。キッズサッカー指導基礎レベルを11名が終了しました。
- ・ネパールで12月から2月にかけて、地元の青少年を対象にサッカー大会を開催。試合の機会が少ないネパールの子どものために試合の機会を提供することができました。また、チームではなく個人のエントリー方式をとったことで、普段チームに所属していない子どもたちにサッカーを体験してもらうことができました。加えて、クラブチームや学校の枠をこえた交流の機会を、子どもたちに提供しました。
- ・ネパールでは、体育の実技の授業のない学校が多く、首都であるカトマンズでは、子どもの運動不足が問題となり始めています。そこで、今年度から学校と連携、レアーレワールドのコーチたちを派遣し、スポーツの実技授業をスタート。子どもたちにとって身体と脳、両方をバランスよく活性化することの大切さを少しずつ実感してくれる学校が増え、来年度は3校で実施する予定です。

②「心身の健康増進、コミュニケーション能力の活性化に関するワークショップ事業」では、コロナ禍を経て、コミュニケーションに不安を抱える人が増えている状況の中、自己表現力やコミュニケーション能力の向上のための講座を提供。多くの参加者の学校や職場、家庭での生活の質の向上に貢献しました。

③「海外の文化、歴史を学び相互理解を深める国際交流事業」に関しては、以下のような成果が得られました。

- ・サッカーシューズやユニフォーム等の寄付を通して、日本と途上国の子どもたちの交流を図るプロジェクトでは、ケニアとエチオピアとネパールにて活動を行いました。

・ケニアでは、2021年度に送付した寄付品を税関から受け取る手続きを現地にて行いました。その後、ナイロビ市内のローカルサッカークラブへの寄付品の贈呈、ランニング大会見学、キベラスラム見学とサッカークラブオーナーとのミーティング、今後力を入れていきたいスタディプログラムの視察や現地旅行代理店とのミーティングを行いました。

・エチオピアでは、ボランティアの大学生と共に、現地の2つの学校を訪問し、生徒たちと交流後、サッカーウェアやボールを寄付し、道具不足の解消に貢献しました。また、学校の生徒の家庭訪問を実施、子どもたちの生活の様子を視察。今後の活動に役立つものとなりました。

・ネパールでは、2カ所僻地の村の学校を訪問。学校で交流授業を行い、その後、サッカーウェアやボールを寄付。十分に道具が揃わない村の学校の子どもたちに、サッカーをプレーする機会を提供しました。

・日本のサッカー選手を派遣しての海外でのサッカー交流、文化交流活動では、海外のサッカーチームでプレーしながら、社会貢献活動を行うことに興味ある日本の青年を広く募集。面接、トライアル、トレーニングを行いました。うち1名をイギリスに派遣し、「London Bees」(FA Women's National League South)と契約を果たしました。また、別の1名をブータンに派遣し、「Thimphu City FC」(The Bhutan Premier League)と契約できました。現地では、サッカー選手や、サッカースクールの子どもたちとサッカーを通じた交流活動を行ってまいりました。令和5年度はさらに多くの選手を海外のチームに派遣する予定です。

・日本の子どもたちとネパールの子どもたちのオンラインを利用した交流会を2回開催しました。交流を通して、それぞれが相手の文化や生活を知り、視野を広げることができました。

④「職業能力、開発、雇用機会の拡充の支援から生まれる物販事業」では、2022年度もネパールコーヒー販売を継続し、ネパールの農業における環境問題の解決に寄与し、ネパールにおける職の雇用機会拡充に貢献することができました。また、今年度からは、マルシェなどへの出店も積極的に行い、ネパールコーヒーを通して、ネパールの抱える問題への理解を深めていただき、国際協力の必要性をアピールすることができました。

⑤「イベント主催、イベント出展、機関紙の発行などの普及啓発事業」では、以下のような成果を得ることができました。

・ゲーム音楽をオーケストラで演奏するコンサート「JPRG Collection Symphony」を開催。子どもに親しみやすいゲーム音楽のコンサートで、子どもたちに本格的なクラシックを体験してもらうことができました。

・「本気と社会貢献」をテーマにしたサッカー大会「レアレカップ」(8歳以下)を開催し、静岡県内の10チームに参加いただき、本気になることの大切さや社会貢献、国際協力について、子どもたちはもちろん、保護者やスタッフ全員に学んでもらうことができました。

・食育セミナーは、新型コロナウイルス感染症対策により年3回の計画を2回に減らしての開催となりましたが、親子で参加できる形式で行い、心、食、身体が密接に関係していることについて親子で学んでいただきました。

・ネパールでも親子を対象にアスリートのための食育セミナーを開催し、保護者の方にも、子どもたちの健全育成において食が重要であることへの理解を深めてまいりました。

・西南学院大学サッカー部広報のメンバーを企画運営チームに迎え、主に大学生をメインターゲットとし、9月より6回のオンライン講座を行いました。様々なゲストにご自身の経験をシェアしていただき、参加者の方に、視野を広げ、価値観をアップデートする機会を提供するとともに、レアレワールドの活動について紹介することができました。

⑥「目的を同じくする団体支援活動」では、ネパールのカトマンズのライオンズクラブの農村部の学校支援事業において、サッカーボールの寄付を通して支援を行いました。

⑦「その他目的を達成するために必要な事業」では、長野県の開田高原にある木曾町における農業体験プログラムを実験的に実施。新しい体験を求める大学生と、若い活力を必要とする過疎化が進む農村を結びつけることで地方の関係人口増加を図る試みを行いました。木曾町の役場ともミーティングを重ね2023年度も同プロジェクトを実施することが決まっています。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
① 文化スポーツなどを通して子どもの心を育む事業	・小学生、中学生を対象にしたサッカーチームの運営(日本)	週5日	伊東高等学校 城ヶ崎分校 対島中学校 伊東市民運動場	8人	伊東市の小中学生 52人	10162
	・幼児～小学校低学年を対象にした運動スクール(日本)	9月より月2回	伊東市民運動場/ロロシトアグラウンド	1人	伊東市の幼児～小学生 30人	23
	・英会話クラス(日本)	7月より週1回	オンライン	2人	伊東市の小学生 15人	0
	・小学生～高校生を対象にしたサッカーチームの運営と生活指導及(ネパール)	週5日	ネパール・バクタプル郡グラウンド	4人	バクタプルの6歳～18歳の青少年 68人	761
	・キッズサッカーチームコーチ育成(ネパール)	11月	ネパール・バクタプル郡	1人	バクタプルの青年 11人	11
	・サッカー教室&サッカー大会企画運営(ネパール)	12月～2月	ネパール・バクタプル郡グラウンド	15人	バクタプルの8歳～15歳の青少年 130人	147
	・学校のスポーツクラスへの講師派遣(ネパール)	12月～3月 週2日	ネパール・バクタプル郡の私立学校	5人	バクタプルの8歳～18歳の生徒 250人	45

②心身の健康増進、コミュニケーション能力の活性化に関するワークショップ事業	・「自己表現」講師	月に8～10回	オンライン	1人	一般約15～20人/回	3
③海外の文化、歴史を学び相互理解を深める国際交流事業	・ケニアの青少年との国際交流事業	4月27日～5月5日	ケニア・ナイロビ市	2人	ケニア・ナイロビ市の青少年120人	1428
	・エチオピアの青少年との国際交流事業	11月22日～29日	エチオピア・アディスアババ市	4人	エチオピア・アディスアババ市の学校の生徒250人	851
	・ネパールの青少年との国際交流事業	3月3日～17日	ネパール・バクタプル郡、シンドパルチヨーク郡、イラム郡	5人	ネパール・バクタプル郡の青少年53名、シンドパルチヨーク郡、イラム郡の学校の生徒185名	426
	・海外のチームでプレーしながら社会貢献活動に従事する選手を育成する事業	通年	静岡県伊東市 イギリス ブータン	1人	日本のサッカー選手15名、イギリスのサッカー選手56名、ブータンのサッカー選手21名、ブータンの小中学生32名	2374
④職業能力、開発、雇用機会の拡充の支援から生まれる物販事業	・日本の子どもとネパールの子どものオンライン交流	9月17日 11月5日	オンライン	3人	伊東市の小学生12人/回 ネパールの小学生13人/回	0
	・職の雇用機会拡充・環境などの社会問題を提起するためのネパールコーヒー販売	通年	ネパール・パルパ及びシヤンジャ郡 ネパール・カトマンズ市	2人	ネパール・パルパ、シヤンジャ郡のコーヒー栽培農家、カトマンズ市でコーヒ	2912

					一選別をする 女性 80 人	
⑤イベント主催、 イベント出展、機 関紙の発行などの 普及啓発事業	・子どものためのクラシック 入門コンサート ・教育型サッカー大会（8 歳 以下） ・食育セミナー ・食育セミナー ・食育セミナー（ネパー ル） ・オンライン講座	5 月 8 日	東京オペラシ ティ（東京都 新宿区）	85 人	一般 167 名	12540
		5 月 21 日	伊東市民運動 場	15 人	静岡県内の小 学生 117 人と コーチや保護 者など一般 115 人	409
		8 月 3 日	城ヶ崎高校体 育館	1 人	伊東市の小学 生 15 人と保護 者 14 人	49
		11 月 24 日	城ヶ崎高校体 育館	1 人	伊東市の小学 生 17 人と保護 者 13 人	55
		1 月 14 日	Zoom 開催	2 人	ネパール・バ クタプル郡の 親子 65 組	10
		9 月 14 日	Zoom 開催	6 人	一般 15 人	0
		10 月 29 日	〃	6 人	一般 18 人	
		12 月 4 日	〃	6 人	一般 22 人	
		12 月 19 日	〃	6 人	一般 20 人	
		3 月 11 日	〃	6 人	一般 23 人	
		3 月 25 日	〃	6 人	一般 40 人	
⑥目的を同じくす る団体支援事業	・ネパールの青少年へのス ポーツ道具の寄付による支 援	12 月 23 日	ネパール・カ トマンズのラ イオンズクラ ブ	1 人	カトマンズ近 郊の学校の生 徒 260 人	5
⑦その他目的を達 成するために必要 な事業	・農業体験プロジェクト	8 月 5 日～ 13 日 9 月 4 日～ 8 日	長野県木曽福 島町	1 人	大学生 2 人 木曽福島町の 農業従事者 10 名	0

認定特定非営利活動法人REALE WORLD 活動計算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	小計	合計
一般正味財産増減の部			
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	72,000		
賛助会員受取会費	645,000	717,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	3,074,087		
受取寄附金振替額	3,410,791		
ボランティア受入評価益	3,988,400	10,473,278	
3 受取助成金等			
受取助成金			
受取補助金	12,340,000	12,340,000	
4 事業収益			
文化・スポーツなどの事業	189,500		
心身の健康増進等に関するワークショップ事業	9,817,500		
職業能力・雇用機会の拡充の支援から生まれる物販事業	2,737,332		
イベント主催などの普及啓発事業	796,892		
国際交流事業	0		
寄付された物品の販売事業	0	13,541,224	
5 その他収益			
受取利息	96		
雑収益	12,063	12,159	
経常収益計	37,083,661		37,083,661
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	614,100		
ボランティア評価費用	3,595,696		
退職給付費用	0		
採用教育費	0		
法定福利費	39,138		
福利厚生費	0		
人件費計	4,248,934		4,248,934
(2)その他経費			
物品販売原価	1,077,381		
福利厚生費	11,614		
業務委託費	12,892,387		
諸謝金	80,000		
印刷製本費	39,740		
会議費	518,096		
交際費	5,489		
旅費交通費	2,164,858		
車両関係費	1,391,612		
通信運搬費	382,775		
消耗品費	4,149,265		
地代家賃	300,000		
減価償却費	236,216		
保険料	28,360		
諸会費	114,000		
租税公課	304,955		
研修費	3,141		
支払手数料	977,089		
支払寄附金	1,875,665		
新聞図書費	590		
広告宣伝費	437,802		
雑費	74,000		
大会参加費	125,358		
施設使用料	550,111		
荷造運賃	221,616		
その他経費計	27,962,120		
事業費計	32,211,054		32,211,054

2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	1,340,000		
ボランティア評価費用	392,704		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	1,732,704		1,732,704
(2)その他経費			
印刷製本費	134,896		
会議費	5,500		
旅費交通費	109,194		
通信運搬費	146,331		
消耗品費	145,884		
諸会費	1,375		
租税公課	24,601		
支払手数料	516,793		
広告宣伝費	24,200		
荷造運賃	990		
その他経費計	1,109,764		1,109,764
管理費計	2,842,468		2,842,468
経常費用計	35,053,522		35,053,522
当期経常増減額	2,030,139		2,030,139
III 経常外収益			
受取利息	0		
雑収益	0		
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
固定資産除・売却損	4,600,000		
経常外費用計	4,600,000	0	4,600,000
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 2,569,861		▲ 2,569,861
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期一般正味財産増減額			▲ 2,640,861
前期繰越一般正味財産額			5,820,285
次期繰越一般正味財産額			3,179,424
指定正味財産増減の部			
I 受取寄付金	0	0	0
II 一般正味財産振替額			▲ 3,410,791
当期指定正味財産増減額			▲ 3,410,791
前期繰越指定正味財産額			8,191,054
次期繰越指定正味財産額			4,780,263
次期繰越正味財産額			7,959,687

認定特定非営利活動法人REALE WORLD 貸借対照表

令和5年 3月31日 現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,834,694		
商 品	157,726		
売掛金	370,460		
未収入金	846,000		
前払費用	0		
流動資産合計		12,208,880	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	473,147		
土地	0		
有形固定資産計	473,147		
固定資産合計		473,147	
資産合計			12,682,027
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	653,659		
未払費用	0		
未払法人税等	71,000		
預り金	34,852		
流動負債合計		759,511	
2 固定負債			
長期借入金	3,962,829		
固定負債合計		3,962,829	
負債合計			4,722,340
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産	8,191,054		
当期指定正味財産増減額	▲ 3,410,791		
指定正味財産合計		4,780,263	
2 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産	5,820,285		
当期一般正味財産増減額	▲ 2,640,861		
一般正味財産合計		3,179,424	
正味財産合計			7,959,687
負債及び正味財産合計			12,682,027

認定特定非営利活動法人REALE WORLD 財産目録

令和5年 3月31日現在

科 目		金 額 (単位:円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	406,077		
普通預金	静岡銀行伊豆高原支店	451,225		
〃	静岡銀行(グラウンド事業)	5,330,572		
〃	静岡銀行(ネパール等国際交流事業)	10,187		
〃	ゆうちょ銀行二三八	2,201,554		
〃	ゆうちょ銀行二三八(振込口座)	1,581,721		
〃	ゆうちょ銀行二三八(物販口座)	103,479		
〃	楽天銀行	59,553		
〃	富士伊豆農協	639,892		
預け金	ヤマト運輸送料	50,434		
売掛金	ヒムカフェ売上	370,460		
商品	コーヒー豆, カップ	157,726		
未収入金	会費@6,000円1名分	6,000		
〃	伊東市SDGs普及啓発事業補助金	100,000		
〃	伊東市青少年健全育成活動応援補助金	200,000		
〃	講師料	540,000		
流動資産合計			12,208,880	
2 固定資産				
有形固定資産				
工具器具備品	空気清浄機	48,049		
工具器具備品	検温サーモカメラ	174,882		
工具器具備品	低濃度オゾン発生器	250,216		
有形固定資産計		473,147		
固定資産合計			473,147	
資産合計				12,682,027
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3月分給与・手数料等	325,279		
〃	DCカード利用料	328,380		
未払法人税等	法人県民税等	71,000		
預り金	源泉所得税, 社会保険料	34,852		
流動負債合計		759,511		
2 固定負債				
長期借入金	三好 彩	3,962,829		
固定負債合計			3,962,829	
負債合計				4,722,340
正味財産合計				7,959,687

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品は最終仕入原価法を採用しています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (3) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、「3、活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	文化・スポーツなどの事業	国際交流事業	ワークショップ事業	物販事業	啓発事業	団体支援事業	その他の事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1.受取会費	645,000	0	0	0	0	0	0	645,000	72,000	717,000
2.受取寄付金	4,209,766	1,772,358	0	0	502,754	0	0	6,484,878	0	6,484,878
3.ボランティア評価益	3,595,696	0	0	0	0	0	0	3,595,696	392,704	3,988,400
4.受取助成金等	400,000	100,000	0	0	11,840,000	0	0	12,340,000	0	12,340,000
5.事業収益	189,500	0	9,817,500	2,737,332	796,892	0	0	13,541,224	0	13,541,224
6.その他収益	55	0	0	4,436	0	0	0	4,491	7,668	12,159
経常収益計	9,040,017	1,872,358	9,817,500	2,741,768	13,139,646	0	0	36,611,289	472,372	37,083,661
II 経常費用										
(1) 人件費										
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	614,100	0	0	0	0	0	0	614,100	1,340,000	1,954,100
ボランティア評価費用	3,595,696	0	0	0	0	0	0	3,595,696	392,704	3,988,400
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用教育費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	39,138	0	0	0	0	0	0	39,138	0	39,138
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,248,934	0	0	0	0	0	0	4,248,934	1,732,704	5,981,638
(2) その他経費										
物品販売原価	0	0	0	1,077,381	0	0	0	1,077,381	0	1,077,381
福利厚生費	11,614	0	0	0	0	0	0	11,614	0	11,614
業務委託費	987,529	0	0	0	11,900,108	4,750	0	12,892,387	0	12,892,387
感謝金	0	0	0	0	80,000	0	0	80,000	0	80,000
印刷製本費	0	1,980	0	0	37,760	0	0	39,740	134,896	174,636
会議費	377,717	112,929	0	0	27,450	0	0	518,096	5,500	523,596
交際費	5,489	0	0	0	0	0	0	5,489	0	5,489
旅費交通費	21,900	2,110,218	0	16,740	16,000	0	0	2,164,858	109,194	2,274,052
車両関係費	1,380,510	6,182	0	4,920	0	0	0	1,391,612	0	1,391,612
通信運搬費	0	378,305	0	3,700	770	0	0	382,775	146,331	529,106
消耗品費	2,284,146	1,681,914	0	1,183	182,022	0	0	4,149,265	145,884	4,295,149
地代家賃	300,000	0	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
減価償却費	236,216	0	0	0	0	0	0	236,216	0	236,216
保険料	20,430	7,930	0	0	0	0	0	28,360	0	28,360
雑会費	0	0	0	0	114,000	0	0	114,000	1,375	115,375
租税公課	600	304,355	0	0	0	0	0	304,955	24,601	329,556
研修費	3,141	0	0	0	0	0	0	3,141	0	3,141
支払手数料	302,410	308,338	3,135	360,676	2,530	0	0	977,089	516,793	1,493,882
支払寄付金	30,750	1,100	0	1,203,923	639,892	0	0	1,875,665	0	1,875,665
新聞図書費	0	0	0	0	590	0	0	590	0	590
広告宣伝費	345,730	15,500	0	76,572	0	0	0	437,802	24,200	462,002
雑費	66,000	8,000	0	0	0	0	0	74,000	0	74,000
大会参加費	125,358	0	0	0	0	0	0	125,358	0	125,358
施設使用料	400,455	142,656	0	0	7,000	0	0	550,111	0	550,111
寄進運賃	0	0	0	166,824	54,792	0	0	221,616	990	222,606
その他経費計	6,899,995	5,079,407	3,135	2,911,919	13,062,914	4,750	0	27,962,120	1,109,764	29,071,884
経常費用計	11,148,929	5,079,407	3,135	2,911,919	13,062,914	4,750	0	32,211,054	2,842,468	35,053,522
当期経常増減額	-2,108,912	-3,207,049	9,814,365	-170,151	76,732	-4,750	0	4,400,235	-2,370,096	2,030,139

3 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位：円)

内容	金額	算定方法
スポーツ事業コーチ 12名×3,809時間	3,595,696	静岡県の最低賃金944円で計算
事務 2名×416時間	392,704	静岡県の最低賃金944円で計算

4 借入金が増減の内訳

借入金が増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金 役員	15,712,829	0	11,750,000	3,962,829
合計	15,712,829	0	11,750,000	3,962,829

5 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書) 事業収益 (MAYA)	421,460	0	421,460
給与手当	1,954,100	0	254,100
(貸借対照表) 長期借入金 (三好 彰)	3,962,829	3,962,829	0
活動計算書計	6,338,389	3,962,829	675,560

20万円以上の取引を記載

6 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
受取寄付金	64,200	0	64,200	0	啓発事業におけるイベントに係る協賛金
受取寄付金	7,422,854	0	2,642,591	4,780,263	グラウンド事業に係る寄附金
受取寄付金	704,000	0	704,000	0	国際交流事業における支援金
受取補助金	0	11,840,000	11,840,000	0	啓発事業におけるイベントに係る補助金
受取補助金	0	400,000	400,000	0	文化・スポーツなどの事業に係る補助金
受取補助金	0	100,000	100,000	0	国際交流事業における補助金
合計	8,191,054	12,340,000	15,750,791	4,780,263	

7 固定資産の増減の内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	709,363	0	0	709,363	236,216	473,147
土地	15,000,000	0	15,000,000	0	0	0
合計	15,709,363	0	15,000,000	709,363	236,216	473,147